



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ピーバンドットコム 上場取引所 東  
コード番号 3559 URL <https://www.p-ban.com/corporate/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 康進  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 上田 直也 TEL (03) 3265-0343  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 未定  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,458	△1.2	75	△38.1	76	△37.0	52	△36.1
2023年3月期第3四半期	1,476	3.7	122	△13.0	122	△14.2	82	△16.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	11.26	11.21
2023年3月期第3四半期	17.12	16.90

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,535	1,258	81.9
2023年3月期	1,526	1,231	80.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,257百万円 2023年3月期 1,231百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				8.00	8.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2024年2月13日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,221	10.2	145	△20.7	145	△20.1	100	8.2	21.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,986,406株	2023年3月期	4,925,206株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	309,522株	2023年3月期	322,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,660,326株	2023年3月期3Q	4,798,480株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年2月20日（火）に個人投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における国内のエレクトロニクス業界は、車載用半導体の供給不足緩和により自動車等の生産活動の正常化が進む一方、スマートフォンやPC等の需要低迷が長引いております。加えて、中国経済の減速、ウクライナ情勢の長期化、各種原材料、エネルギー価格の高騰の影響など、世界的なインフレの進行により、依然として経済の見通しは不透明であります。

このような事業環境の中、当社では、2022年度から2030年度に渡る「長期ビジョンに基づく中期経営計画」で公表しました「飛躍に向けての基盤整備」をテーマとした第1次中期計画の取り組みを進めております。

プリント基板Eコマース「P板.com」事業では、売上規模が拡大している中堅・大手企業顧客層の拡販施策を通じて事業拡大を目指しております。とくに、部品実装サービスの利用促進を進めており、前事業年度に実施した価格・納期の合理化により、今年度も利用増加が続いております。

また、業種的には自動車・医療機器・半導体装置関連メーカの利用が増加しており、類似企業で当社とまだ取引が多くない企業をターゲットとする施策も展開してまいります。

11月には、14年目となる当社主催のハードウェアコンテスト「GUGEN（グゲン）」を開催し、今年はスタートアップ企業やエンジニアを対象としたノウハウセミナーを併催しGUGEN来場者層の拡大を行い、顧客接点の強化を図りました。

新設したR&Dチームの取り組みの成果として、直近1月に生成AI「ChatGPT」を活用した電子部品情報検索サービス「データシートちゃん」をリリースしました。本サービスは、昨年9月にリリースした基板設計サポートチャットボット「基準書ちゃん」に続く、生成AI活用した当社オリジナルサービスの第二弾となります。引き続き先端技術を利用したサービス改善、業務効率の改善に資する研究を進めてまいります。

電子機器の一括製造受託サービス「P板.com EMS」をリブランドした開発・量産支援サービス「S-GOK」（スゴック）は、IoT民生端末をテーマに日本碍子株式会社（証券コード：5333）と共催セミナーを、また、助成金・補助金活用をテーマに株式会社ライトアップ（証券コード：6580）と共催セミナーを実施し、セミナーからの流入によるリレーション作りの強化を図っております。

なお、販売管理費につきましては、「仕組み×人」の経営戦略を加速させるため、人材採用を従来計画から前倒ししたことによる影響が出ておりますが、まずはトップライン成長を優先しながら、きめ細かな経費コントロールを実施することで早期の平準化を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,458,187千円（前年同期比1.2%減）、販売費及び一般管理費は412,854千円（前年同期比12.4%増）、営業利益は75,822千円（前年同期比38.1%減）、経常利益は76,913千円（前年同期比37.0%減）、四半期純利益は52,488千円（前年同期比36.1%減）となりました。

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### （資産の部）

当第3四半期会計期間末における総資産は1,535,928千円となり、前事業年度末と比較して9,180千円の増加となりました。主な要因は、商品が2,712千円、有形固定資産が1,327千円、無形固定資産が8,836千円、投資有価証券の取得等により投資その他の資産が54,726千円増加した一方、現金及び預金が27,041千円、売掛金が32,869千円減少したこと等によります。

#### （負債の部）

当第3四半期会計期間末における負債合計は277,548千円となり、前事業年度末と比較して17,989千円の減少となりました。主な要因は、買掛金が4,138千円、流動負債のその他に含まれる未払費用が6,337千円、賞与引当金が16,483千円増加した一方、流動負債のその他に含まれる未払金が19,259千円、未払法人税等が26,587千円減少したこと等によります。

#### （純資産の部）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,258,379千円となり、前事業年度末と比較して27,170千円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が52,488千円増加、配当金の支払により利益剰余金が36,825千円減少、自己株式が7,714千円減少（純資産の増加）したこと等によります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。世界的な半導体不足の影響等については不透明感が強く、今後も慎重に見ていく必要がありますが、計画の達成を目指して、積極的な受注獲得に取り組んでまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,051,809	1,024,768
電子記録債権	4,620	593
売掛金	272,095	239,225
商品	20,441	23,153
その他	11,398	16,811
貸倒引当金	△772	△669
流動資産合計	1,359,592	1,303,882
固定資産		
有形固定資産	11,342	12,670
無形固定資産	53,170	62,007
投資その他の資産		
その他	104,237	159,177
貸倒引当金	△1,595	△1,809
投資その他の資産合計	102,641	157,367
固定資産合計	167,154	232,045
資産合計	1,526,747	1,535,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	190,290	194,428
未払法人税等	26,587	-
賞与引当金	2,443	18,926
その他	60,576	48,767
流動負債合計	279,898	262,122
固定負債		
退職給付引当金	15,640	15,426
固定負債合計	15,640	15,426
負債合計	295,538	277,548
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	178,772	181,367
資本剰余金	144,772	147,367
利益剰余金	1,106,322	1,120,070
自己株式	△198,710	△190,996
株主資本合計	1,231,156	1,257,809
新株予約権	52	569
純資産合計	1,231,208	1,258,379
負債純資産合計	1,526,747	1,535,928

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,476,323	1,458,187
売上原価	986,598	969,509
売上総利益	489,725	488,677
販売費及び一般管理費	367,314	412,854
営業利益	122,410	75,822
営業外収益		
協賛金収入	1,600	2,100
受取利息	5	5
受取手数料	284	337
その他	158	328
営業外収益合計	2,048	2,771
営業外費用		
為替差損	1,495	792
投資事業組合運用損	883	884
その他	3	4
営業外費用合計	2,383	1,681
経常利益	122,075	76,913
特別損失		
固定資産除却損	2,764	-
特別損失合計	2,764	-
税引前四半期純利益	119,310	76,913
法人税、住民税及び事業税	34,007	21,980
法人税等調整額	3,141	2,443
法人税等合計	37,148	24,424
四半期純利益	82,162	52,488

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。